

「隠居さん」の話

少し家での話もいたします。かく言う私は変な話ですが、昔は、即ち若いころは、家ではご居さんでした。行動がきわめて消極的でした。そして日曜の午後は、概ね静かに庭を眺めていることにしていました。当時、新婚早々の妻は、理由はわからなかったようですが、驚いたそうです。私としてはそうして心の平安を得なければ、ストレスの多い一週間の勤務にはとても耐えられないと、思い込んでおりました。

今は様変わりで、日曜の夜、集談会で疲れて帰ってきて、月曜の朝、しんどい思いで出社して、その日、会社にいるうちに調子が回復しているのです。休日で時間のある時には、松の木などの葉蒴りをしたり…と、これは一見、ご隠居さんふうかもしれませんが、なかなか大変で、本人としては植木屋ふうのもりです。また家族が外出すると言えば、駅まで車で送るように身体が自然に動いてゆくと感じるほどで、家族が気の毒がってくれるほどです。なすべきをなすという「実践の立場」により行動することへの評価が大きく変わったためでしょう。

(続)